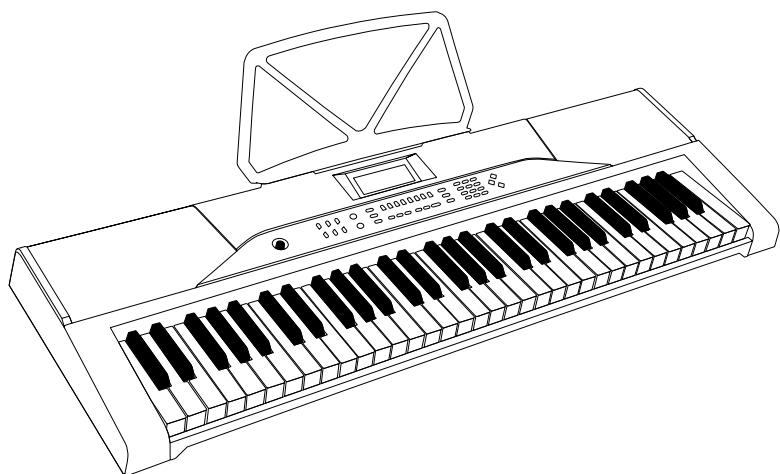


レッスン機能付き電子キーボード

JOY MK-2100

取扱説明書



安全上のご注意

次に示す注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、火災、感電、人身傷害など事故を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。また、本書はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、使用者が死亡するまたは重症を負うなどの重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
- 修理は販売店に依頼してください
- この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

設置環境に関して

- 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・ 雨に濡れる場所
 - ・ ホコリの多い場所
- 本機の上に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。
- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- この機器を落としたり、機器に強い衝撃を与えないでください。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

- アダプターは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
- 付属アダプターはこの機器以外には使用しないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードがショートを起こしたり、断線するなどして、火災や感電の原因になる恐れがあります。
- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差しをしないでください。
- アダプターをコンセントに抜き差しするときは、必ずアダプター本体を持ってください。
- この機器を移動するときは、アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。
- 長時間使用しないときは、アダプターをコンセントから外してください。
- 落雷の恐れがあるときは、早急にアダプターをコンセントから外してください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、アダプターをコンセントおよび本体から抜いてください。
- 次のような場合は、直ちに電源を切ってアダプターをコンセントおよび本体から外し、販売店に修理を依頼してください。
 - ・ アダプターやコードが破損したとき

- ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
- ・ 機器に異常や故障が生じたとき

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をししないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット/アンペア）を超えるや発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

- 小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたすらに注意してください。必ず保護者の方が監視/指導してあげてください。

使用上のご注意

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- アダプターを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すく手の届くところのものを使用してください。
- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハムノイズ（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- 故障の原因になりますのでスイッチやボタンに必要な以上の力を加えないでください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出る場合があります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- 本製品の表面をお手入れする前に、アダプターをコンセントから外してください。
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、スイッチ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。

■はじめに

この度は JOY MK-2100 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。MK-2100 はピアノやオルガンなど 255 種類の音色に加え、ロック、ポップ、ジャズなどの様々なリズム (255 種類) を搭載し、どなたでも簡単に演奏を楽しむことができるキーボードです。

リズム機能にはオートベースコード機能も備わっており、左手でコードを押さえるだけで本格的な伴奏を奏でることが可能です。また、オートベースコードにはシングルフィンガーモードも装備。コードのルートを鍵盤で指定するだけでコードチェンジが可能のほか、最大 3 つの鍵盤を同時に押さえることでコードタイプを変更できるので、メジャーコードだけでなく、マイナー、7th、マイナー 7th といったコードも簡単に指定できます。

MK-2100 には有名クラシック曲などをはじめ様々な楽曲を 50 曲内蔵しており、これらに合わせて演奏を行うレッスンモードも搭載しています。演奏スキルにあわせて 3 段階のレッスンモードを装備しており、ワンキーレッスンモードでは音階に関係なく好きな鍵盤を押してメロディーを奏でることが可能ですので、メロディーのリズムだけを練習するのにも最適です。

さらにお好みのフレーズやリズムを録音して再生したり、プログラミングする機能や、USB メモリー (別売) による MP3 の音楽ファイルを再生する機能も装備されており、MK-2100 一台で様々なシーンにおいて音楽や演奏を楽しむことが可能です。

■仕様および付属品

製品仕様：

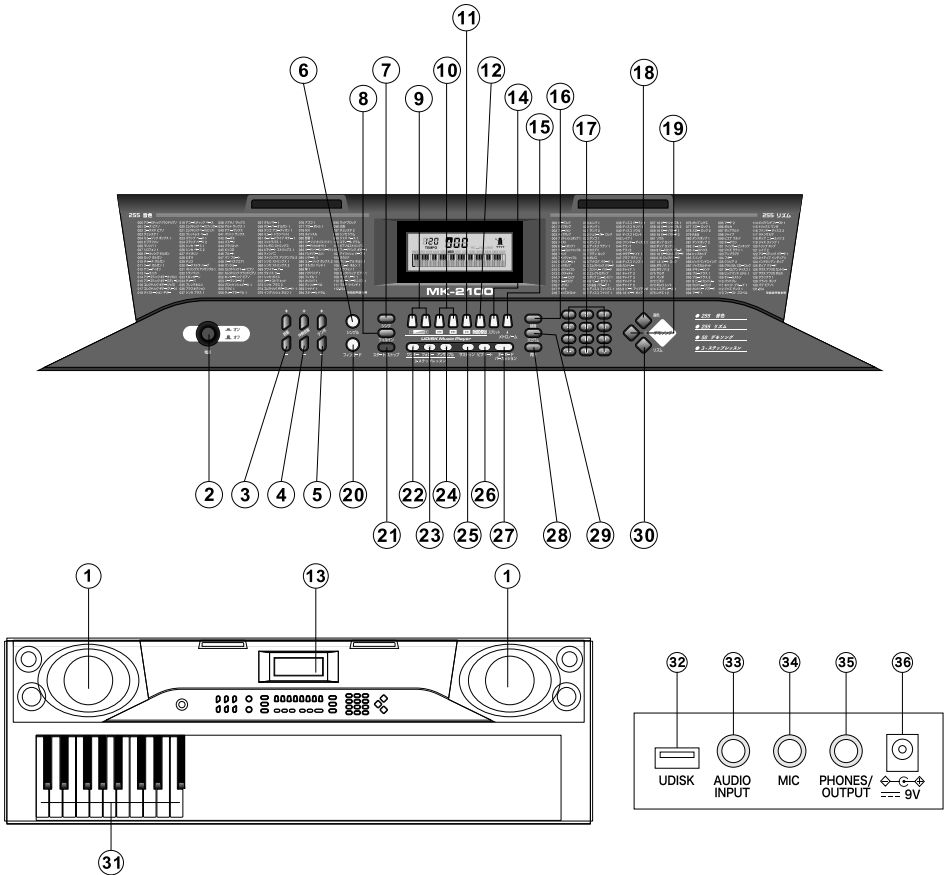
寸法：93 x 30.4 x 9.3cm

重量：3.7 Kg

付属品：

- ・キーボード本体
- ・譜面台
- ・マイク
- ・AC アダプター
- ・取扱説明書

各部の名称



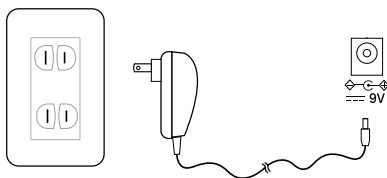
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① スピーカー | ⑩ MP3 選曲 (ファイル選択) ボタン |
| ② 電源 ボタン | ⑪ MP3 再生 / 一時停止 ボタン |
| ③ 音量 ボタン (主音量) | ⑫ MP3 再生モード選択 ボタン |
| ④ 伴奏音量 ボタン | ⑬ LCD ディスプレイ |
| ⑤ テンポ ボタン | ⑭ スプリット ボタン |
| ⑥ シングルフィンガーコード ボタン | ⑮ メトロノーム ボタン |
| ⑦ シンクスタート ボタン | ⑯ 録音 ボタン |
| ⑧ フィルイン ボタン | ⑰ 数字 キー |
| ⑨ MP3 音量 ボタン | ⑱ 音色 ボタン |

- ⑱ デモソング ボタン
- ㉓ 再生 ボタン
- ㉒ フィンガードコード ボタン
- ㉔ プログラム ボタン
- ㉑ スタート/ストップ ボタン
- ㉕ リズム ボタン
- ㉒ ワンキー ボタン
- ㉖ コードゾーン
- ㉓ フォロー ボタン
- ㉗ USB メモリー 接続端子
- ㉔ アンサンブル ボタン
- ㉘ オーディオ入力端子
- ㉕ サスティン ボタン
- ㉙ マイク入力端子
- ㉖ ビブラート ボタン
- ㉚ ヘッドフォン/ライン出力端子
- ㉑ キーボードパーカッション ボタン
- ㉛ 電源アダプター接続端子

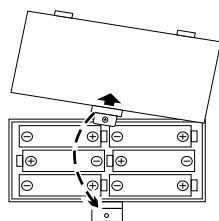
■ 電源アダプターの接続および電池の入れ方

本機は付属の電源アダプターまたは単三形アルカリ乾電池 6 本で動作します。

②電源ボタンがオフの状態（押し込まれていない状態）であることを確認してから、付属の電源アダプターを㉛電源アダプター接続端子に接続した後、アダプター本体を 100V のコンセントに接続してください。



また、単三形アルカリ乾電池を使用する場合は、背面の電池ボックスカバーにある止めねじを＋ドライバーでゆるめてからカバーを外し、電池ボックス内に単三形アルカリ乾電池 6 本を内部の絵に合わせて正しい向きで取り付け、再びカバーを取り付けてから止めねじを締めて下さい。



■ 電源のつけ方、消し方



本体中段左寄りにある赤い②電源ボタンを押して電源を入れます。※スピーカーからポツという音が出ますが、故障ではありません。

ボタンが押し込まれている状態がオンの状態です。

電源をオフにするときは、もう一度ボタンを押して下さい。ボタンが戻り電源が消えます。

■ 音量の調節

・主音量の調節



電源ボタンの右側にある③音量ボタンで調整します。

音量を下げたいときは下側のボタンを、上げたいときは上側のボタンを押します。一度押す毎に⑬ LCD ディスプレイに現在の音量が数値で表示されます。(数値は 00 ~ 16 まであり、00 では音が出ません)

鍵盤を弾いて音を鳴らしながら適正な音量に調整して下さい。

・伴奏音量の調節



③音量ボタンの右側にある④伴奏音量ボタンで調整します。

音量を下げたいときは下側のボタンを、上げたいときは上側のボタンを押します。一度押す毎に⑬ LCD ディスプレイに現在の音量が数値で表示されます。(数値は 01 ~ 16 まであります)

⑳スタート/ストップスイッチを押すとドラムパターンが流れますので、その音を聞きながら適正な音量に調節して下さい。

なお、主音量に比例して伴奏音量も変化します。主音量が 00 の場合、伴奏は聞こえませんがご注意ください。

■ デモソングを聴いてみよう

MK-2100 にはあらかじめ 50 曲のデモソングが搭載されています。このデモソングはレッスンモードで使用する楽曲と共通ですので、まずは搭載されているデモソングを聴いてみましょう。

本体中段右側にある⑱デモソングボタンを押して⑬ LCD ディスプレイ内に **SONG** を表示させます。

次に⑰数字キーを使って楽曲リスト (17 ページ参照) の曲番号を 3 桁の数字で指定します。例えば「エリーゼのために」を選択する場合は「001」と押します。数字を入力し終わると曲が自動的に再生されます。続けて数字キーを入力すると曲を変更することができます。※数字キーにある+と-のキーでも選択できます。

再生を止めるには、デモソングボタンをもう一度押すか、㉑スタート/ストップボタンを押します。

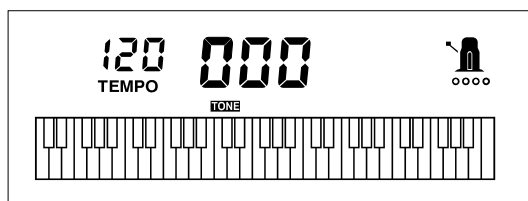


■ さまざまな楽器の音で演奏しよう

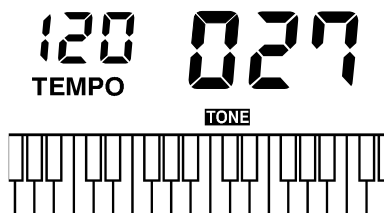
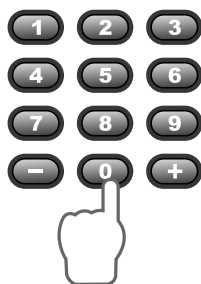
MK-2100 にはピアノやオルガンをはじめ、ギターやシンセサイザー音など255種類の様々な音色が搭載されています。電源を入れた時はピアノの音が出るようになっていますが、次の要領で音色を切り換えることにより、楽しく演奏を行うことができます。

音色の切り替えを行う場合は、本体中段右側にある⑩音色ボタンを押します。

⑬ LCD ディスプレイ内に **TONE** という表示が現れます。このときにしばらくすると **TONE** の表示が消えて **SONG** の表示になってしまう場合は、デモソングモードまたはレッスンモードになっていますので、一度⑭スタート/ストップボタンを押してモードを解除して下さい。



次に⑮数字キーを使って本体左上に記載されている音色リストまたは18ページにある音色リストの音色番号を3桁の数字で入力します。例えばバイオリンに変更したい場合は、「027」と入力します。※数字キーにある+と-のキーでも選択できます。



■エフェクトボタンの使い方

MK-2100にはサスティンとビブラートという2種類のエフェクトボタンが装備されています。

・サスティン



サスティンとは音を長く伸ばす機能を言います。⑫サスティンボタンを押すと⑬LCDディスプレイに **SUS** が表示され、鍵盤を弾いて離れたときに音が消えるまでの時間が少し長くなります。

サスティンを解除したい場合は、もう一度サスティンボタンを押してLCDディスプレイの **SUS** を消して下さい。

・ビブラート



ビブラートとは音の高さ（ピッチ）を微妙に上下に揺らす効果です。サスティンボタンの隣にある⑭ビブラートボタンを押すとLCDディスプレイに **VIB** が表示され鍵盤を弾いたときに音が揺れるようになります。

ビブラートを解除したい場合は、もう一度ビブラートボタンを押してLCDディスプレイの **VIB** を消して下さい。

■鍵盤で打楽器を演奏する

MK-2100は、鍵盤部分をすべて打楽器の音にするキーボードパーカッション機能が搭載されています。ドラムセットの音やカウベル、コンガといったパーカッションの音色まで、色々な音を出すことができます。



キーボードパーカッション機能を使用するには、⑮キーボードパーカッションボタンを押します。この状態で鍵盤を弾くとすべて打楽器の音に変わります。鍵盤ごとの楽器音は、鍵盤上部にアイコンで示されています。

元に戻す場合はもう一度キーボードパーカッションボタンを押します。これでキーボードパーカッションボタンにする前の音色に戻ります。

なお、キーボードパーカッション機能はデモ曲再生中やレッスンモード中でも使用できますので、小さなお子様が曲に合わせてリズムを楽しむ場合にも最適です。

■ 右手と左手で違う音色を出す

MK-2100にはスプリット機能という2種類の音色を鍵盤の左側と右側に割り振る機能が装備されています。たとえば左手でピアノの伴奏をしながら右手でフルート音色でメロディーを演奏するといったことができます。

スプリット機能では本体中央左寄りのドの音の鍵盤から上と、それ以外の左側の鍵盤とに別々の音色を割り当てることができます。



まず初めに左側の鍵盤に割り当てる音色を選択（7ページ参照）します。（スプリット機能がオフの状態を選択して下さい）次に、本体中央部分にある⑭スプリットボタンを押してから⑰数字キーを使って右側の鍵盤に割り当てる音色を選択します。スプリット機能が働いているときは⑬LCDディスプレイ内に **SPLIT** が表示されます。スプリットを解除したい場合は、もう一度スプリットボタンを押してください。 **SPLIT** が消えて通常モードに戻ります。

なお、スプリット機能が働いているときは、左側鍵盤が1オクターブ高く発音するようになります。また、キーボードパーカッションボタンを押しているときはスプリット機能は無効となります。

■ 録音モードを使ってみよう

録音モードを使用すると、ご自身で演奏した音をMK-2100に記録することができます。記録できるのは最大60音（和音の場合もその和音数分消費します）まで、また、2分音符、4分音符、8分音符、8分三連符のいずれかのリズムのみ録音できます。楽器音、キーボードパーカッションいずれの音でも録音が可能です。

⑩録音ボタンを押して⑬LCDディスプレイに **REC** を表示させます。この状態でいずれかの鍵盤を押した時点から録音が始まります。途中で演奏を止めてしまっても、次に弾いた音が、前の音符の2分音符後に録音されますので、リズム通りに演奏できなくても録音が可能です。60音を越えて演奏を行うとLCDディスプレイの **REC** が点滅します。点滅以降の演奏は録音されませんのでご注意ください。



⑳再生ボタンを押すと、録音した演奏が再生されます。

ヒント：⑥テンポボタンでテンポを遅くすると演奏しやすくなります。

■プログラムモードを使ってみよう

プログラムモードを使うと、パーカッション音色を使ったリズムパターンを最大 32 音までプログラムすることができます。



プログラムモードを使うには⑳プログラムボタンを押して⑲LCDディスプレイに **PRG** を表示させます。



この状態で鍵盤を弾くと、キーボードパーカッションサウンドがでますので、好きなリズムパターンをプログラムします。鍵盤を 1 音ずつ弾いて入力を行い、終了したら㉑再生ボタンを押すと、一定のリズムで弾いた順番通りにリズムが再生されます。再生ボタンを押すと鍵盤は楽器音に戻りますので、リズムに合わせて演奏を楽しみましょう。リズムを止めたい場合はもう一度再生ボタンを押します。

停止中に鍵盤を弾くとプログラムを上書きできます。

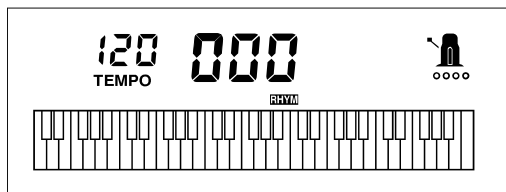
なお、LCDディスプレイの **PRG** が点滅した場合は、32 音を越えていますので、それ以降の入力は無効になります。

※休符および同じタイミングに複数のパーカッション音色を入力することはできません。

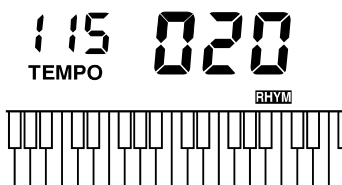
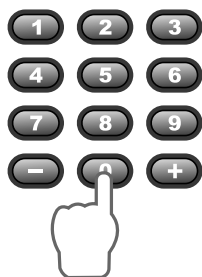
■リズムパターンを使ってみよう 1

MK-2100 にはロックやジャズなど、255 種類の様々なリズムパターンが搭載されており、これらのリズムパターンに合わせて演奏を楽しむことができます。リズムパターンを呼び出すには、本体中段右側にある㉒リズムボタンを押します。

⑲LCDディスプレイ内に **RHYM** という表示が現れます。このときにしばらくすると **RHYM** の表示が消えて **SONG** の表示になってしまう場合は、デモソングモードまたはレッスンモードになっていますので、一度㉑スタート/ストップボタンを押してモードを解除して下さい。



次に⑰数字キーを使って本体左上に記載されているリズムパターンリストまたは 19 ページにあるリズムパターンリストのリズム番号を 3 桁の数字で入力します。例えばサンバ 1 に変更したい場合は、「020」と入力します。*数字キーにある+と-のキーでも選択できます。



リズムパターンを演奏中に⑧フィルインボタンを押すと、1小節分ドラムパターンが変化し、フィルイン（曲の盛り上がり前などに入れるフレーズ）として使用することができます。



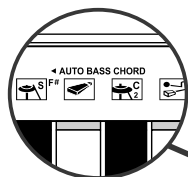
また、⑦シンクスタートボタンを押して LCD ディスプレイに **SYN** を表示させておくと、左から19個のいずれかの鍵盤を押した瞬間にリズムパターンをスタートさせることができますので、演奏と同時にリズムパターンを使いたいときなどに便利です。



■ リズムパターンを使ってみよう 2

MK-2100 のリズムパターンにはオートベースコード機能（コードを指定して自動的に伴奏する機能）が搭載されています。コードを指定する方法は2種類あり、左手の指1本から3本だけで簡単に4種類のコードタイプ（メジャーやマイナーなど）を指定できるシングルコードモードと、より複雑なコードタイプまで指定する事ができるフィンガードコードモードがあります。

いずれの場合も本体左から19個の③コードゾーンの鍵盤（上部に AUTO BASS CHORD と記載されている左矢印より左側の鍵盤）を使ってコードを指定します。



オートベースコード機能を使用しているときは、コードゾーンの鍵盤を弾いても、ピアノやオルガンなど、選択した音色やキーボードパーカッションの音は出ません。これらの鍵盤より右側での鍵盤を使って演奏して下さい。



・シングルコードモード



シングルコードモードを使用する場合は⑥シングルフィンガーコードボタンを押します。

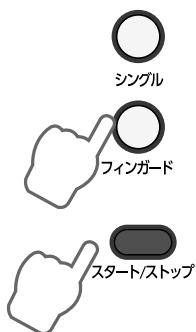
⑬ LCD ディスプレイに **RHYM** と **SIN** が表示されているのを確認して下さい。

次に②スタート/ストップボタンを押します。

③①コードゾーンの鍵盤範囲の中から任意の鍵盤を弾くとベース及びコードが自動的に演奏されます。コード指定用の鍵盤を弾く度にコードが変わります。コードと抑える鍵盤の関係は下記の図を参照してください。

	M	m	7	m7
C				
C#				
D				
D#				
E				
F				
F#				
G				
G#				
A				
A#				
B				

・フィンガードコードモード フィンガードコードモードを使用する場合は⑳フィンガードコードボタンを押します。

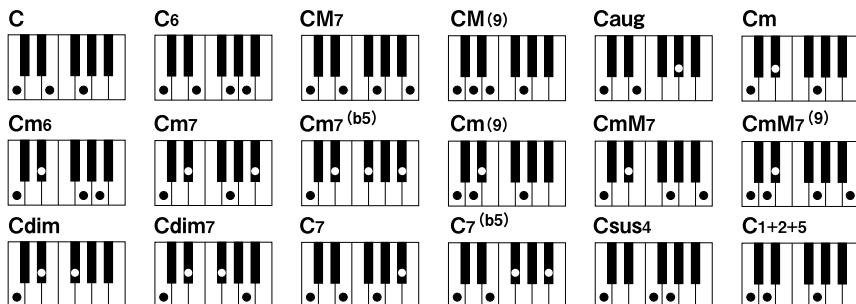


⑬ LCD ディスプレイに **RHYM** と **FIN** が表示されているのを確認して下さい。

次に㉑スタート/ストップボタンを押します。

⑳コードゾーンの中から任意の鍵盤を弾くとベース及びコードが自動的に演奏されます。コード指定用の鍵盤を弾く度にコードが変わります。コードと抑える鍵盤の関係は下記の図を参照してください。

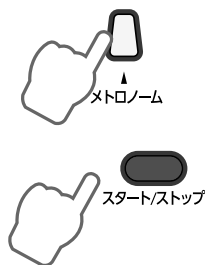
下図はコードのルート(基音)がCの場合を示しています。ルートを変更したい場合は、一番左の音がそのコードのルートになるように下図の形のまま移動させてください。例えばDをルートとする場合はすべての音を全音上に移動させます。



いずれのモードも、伴奏を止めたいときはスタート/ストップボタンを押してください。一度伴奏を止めるとオートベースコード機能がリセットされますので、再度⑥シングルフィンガーコードボタンまたはフィンガードコードボタンを押して指定してください。また、伴奏の音量が大きい(小さい)場合は、④伴奏音量ボタンで音量を調整してください。

■メトロノーム機能について

MK-2100には演奏の練習に便利なメトロノーム機能が搭載されています。メトロノーム機能を有効にするには、⑮メトロノームボタンを押します。⑬LCDディスプレイに表示されている現在のテンポに合わせてメトロノーム音が出ます。メトロノームのタイプは、メトロノームボタンを押す毎に下記のように切り替わります。メトロノームを止めたいときは⑳スタート/ストップボタンを押します。

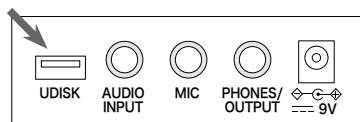


■MP3を再生する

MK-2100は、背面の㉒USBメモリー接続端子にUSBメモリーを接続することで、USBメモリー内に保存されたMP3ファイルを再生する「UDISK Music Player」機能が搭載されています。

まず、パソコンなどを使用してUSBメモリーにお好きなMP3ファイルを保存します。

次にMK-2100の電源を切った状態で背面のUDISKと表示されているUSBメモリー接続端子にUSBメモリーを接続してください。※電源を入れたままUSBメモリーを接続すると、再生ボタンを押さずに再生が始まってしまうのでご注意ください。



MP3プレーヤー コントロールスイッチ

⑪MP3再生/一時停止ボタン を押すとMP3ファイルが再生されます。音量は⑨MP3音量ボタン を使って調整してください。※主音量とは独立して動作します。

選曲を行いたい場合は⑩MP3選曲ボタン で選択してください。

⑫MP3再生モード選択ボタン を押すとファイル再生方法が、「すべての楽曲を再生してリピート」「ランダムに再生」「選択された一曲だけをリピート」の3種類で押す度に切り替わります。※ディスプレイ表示がありませんので、選曲ボタンを何度か押して曲の切り替わり具合を確認すると確実です。

■ 外部機器を接続する

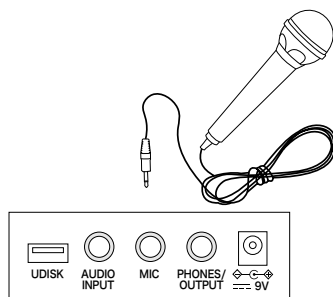
MK-2100 はマイクや携帯プレーヤーなどのオーディオ機器を接続して、本体のスピーカーから音を出すことが可能です。オーディオ機器、および接続用のケーブルなどは別途お買い求めください。

• マイクの接続

本体の電源を切った状態で、本体背面にある③ MIC 入力端子に付属の専用マイクを接続してください。※故障の原因となりますので、付属の専用マイク以外を接続しないで下さい。

マイクを本体スピーカーから十分離れた状態で電源を入れます。※スピーカーから近いとハウリング（ピーという音）が起きますのでご注意ください。

マイクにに向かって話すと、本体スピーカーから音が聞こえます。※マイクの音量調節はできません。

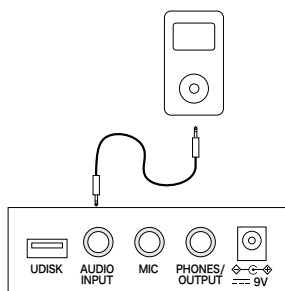


• オーディオ機器の接続

本体の電源を切った状態で、本体背面にある③ AUDIO 入力端子に 3.5mm ミニステレオジャックタイプのケーブル（別売）を使ってオーディオ機器類を接続してください。

オーディオ機器の音量を下げた状態で MK-2100 の電源を入れます。

オーディオ機器で音楽などを再生し、徐々にオーディオ機器側の音量を上げていくと、MK-2100 のスピーカーから音楽が再生されます。※ MK-2100 の音量設定に関係なく再生されますので、音量調節はオーディオ機器側でおこなって下さい。



■ レッスンモードの使い方

MK-2100には、3種類のレッスンモードが搭載されており、本体内蔵のデモ曲に合わせて演奏を練習することが可能です。レッスンモードは初心者向けの「ワンキー」、中級者向けの「フォロー」、上級者向けの「アンサンブル」があり、いずれも伴奏付で楽しくレッスンを行うことができます。

・ワンキー

ワンキーとは、メロディーのリズムだけを鍵盤で叩くことにより、自分のタイミングでゆっくりと曲を進めることができるレッスンモードです。

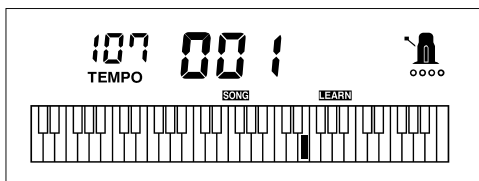
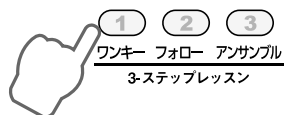
ワンキーレッスンを始めるには②ワンキーボタンを押します。

次にレッスンを行いたい楽曲を①数字キーで選択します（17ページ参照）。例えばエリーゼのためにを練習したい場合は「001」と押します。

曲を選択すると演奏が開始され、練習するメロディー音の部分に来ると、伴奏がループします（鍵盤を弾くまで待ってくれます）。

メロディー音を奏でるタイミングでいずれかの鍵盤を弾くと、メロディー音が発音し、伴奏が先に進みます。実際に発音している音（メロディー）と弾いている鍵盤は異なる場合があります。（どの鍵盤を弾いても正しいメロディーが奏でられます）

次の音（鍵盤）を弾くまで伴奏も待ってくれますので、メロディーのリズムを正確に弾けるようになるまで練習を行いましょう。



⑬ LCD ディスプレイには正しいメロディーの鍵盤位置を点滅で表示していますので、リズムが奏でられるようになったら、鍵盤の位置も正しい位置が弾けるように練習しましょう。

・フォロー

フォローレッスンは、ワンキーと同様に伴奏が待ってくれるモードですが、LDC ディスプレイに表示される正しい音（メロディー）の鍵盤を押さないと次に進まないようになっているため、ワンキーレッスンより難易度が上がります。

フォローレッスンを始めるには②フォローボタンを押します。



次にワンキーレッスンと同様にレッスンを行いたい楽曲を数字キーで選択します。

LCD ディスプレイで点滅している鍵盤と同じ鍵盤を弾くと、楽曲が前に進みます。違う鍵盤を弾いた場合は伴奏が進みません。

正確にすべてのメロディーが弾けるようになるまで練習しましょう。

・アンサンプル

アンサンプルレッスンは、伴奏が最初から最後までその楽曲のテンポで進むモードです。間違えても途中で止まってくれませんので、レッスンの最終仕上げとして活用する上級者モードです。

アンサンプルレッスンを始めるには④アンサンプルボタンを押します。



次に他のレッスンと同様にレッスンを行いたい楽曲を数字キーで選択します。

LCD ディスプレイに正しいメロディーの鍵盤位置が点滅で表示されますので、それに合わせながらしっかりとメロディーが弾けるようになるまで練習しましょう。

■ 楽曲リスト

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 000 カノン | 025 結婚行進曲 |
| 001 エリーゼのために | 026 主よ人の望みの喜びよ |
| 002 「水上の音楽」よりアラ・ホーンパイプ | 027 小犬のワルツ |
| 003 J.S. バッハ/インヴェンション 第13番 | 028 天国と地獄 |
| 004 アヴェ・マリア | 029 白鳥の湖 |
| 005 アラベスク 第1番 | 030 美しく青きドナウ |
| 006 アルルの女 メヌエット | 031 茶色の小瓶 |
| 007 ウィリアム・テル序曲 | 032 アー・ユー・スリーピング |
| 008 カルメン序曲 | 033 かつこうワルツ |
| 009 くるみ割り人形 マーチ | 034 グリーン・スリーブス |
| 010 シューベルト：軍隊行進曲 | 035 ハッピー・バースデー・トゥー・ユー |
| 011 セレナーデ「白鳥の歌」より | 036 ロンドン橋 |
| 012 ソルフェジェット | 037 メリーさんの羊 |
| 013 トルコ行進曲 | 038 ゆかいな牧場 |
| 014 ノクターン | 039 スキップ・トゥー・マイ・ルー |
| 015 ハンガリー舞曲 第5番 | 040 大きな栗の木の下で |
| 016 ビバルディ四季より春 | 041 アヴィニヨンの橋の上で |
| 017 ベートーヴェン ソナタ | 042 10人のインディアン |
| 018 モーツァルト 交響曲 第40番 第1楽章 | 043 きらきら星 |
| 019 ユーモレスク | 044 アルプス一万尺 |
| 020 ラデツキー行進曲 | 045 赤い河の谷間 |
| 021 花のワルツ | 046 ジングル・ベル |
| 022 華麗なる大円舞曲 | 047 諸人ごぞりて |
| 023 金婚式 | 048 もみの木 |
| 024 熊蜂の飛行 | 049 おめでとうクリスマス |

